

学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の基本的考え方

～保護者の主体的な参画とともに～

1 学校生活支援シートとは

□ 保護者、教育、保健・医療、福祉等が連携し児童・生徒を支援していく継続的な計画である。

児童・生徒や保護者の希望を踏まえるとともに、児童・生徒を中心に、保護者や関係機関がそれぞれの役割分担を確かめ、必要となる支援を行っていくためのものです。

□ 教育、保健・医療、福祉等が行ってきた支援の情報を共有するものである。

これまで行ってきた支援を整理するとともに、支援に関する必要な情報を記載し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫性のある支援を行っていくためのものです。

□ 入学時や進級・進学時の引継ぎを確実にを行うためのものである。

指導や支援の成果、児童・生徒の変化、有効であった支援等を保護者と確認し、確実に引き継ぐためのものです。

※ 「学校内における支援」だけでなく、学校卒業後も適時・適切な支援を受けることができるよう、関係機関等と連携して学校生活を支えるという視点を持つことが大切です。

【「学校生活支援シート」のイメージ】

～一貫性のある支援の充実～



つながり

- ◆ 教員（学校）と保護者を「つなぐ」
- ◆ 必要な指導や支援の手だてを「つなぐ」
- ◆ 児童・生徒及び保護者の思いや願いを「つなぐ」
- ◆ 児童・生徒に関わる人と人を「つなぐ」

・いつでも（縦のつながり）
・どの場でも（横のつながり）

安心

6 学校生活支援シート・学校生活支援ファイルを活用した引継ぎの流れ

～送る側と受け取る側のニーズを理解した引継ぎ～

